

織田小・萩野小の再編についての地区懇談会（萩野小学校区）
結果概要

○開催日：令和6年11月13日（水）午後7時00分～8時00分

○場 所：織田コミュニティセンター 1階多目的ホール

○参加者：保護者11名 一般住民12名 合計23名

○事務局：教育長、教育委員会事務局長、教育政策推進室長、教育政策推進室員3名
子ども未来課長、子ども未来課長補佐
学校関係者1名

○内 容：小学校の再編についての意見交換

- ・越前町小中学校再編に係る経過等について
- ・学校の基本的事項（校名、校章、校歌）について

主な意見と回答

（参加者）織田と萩野、それぞれの地区ごとの児童人数について教えていただきたい。

⇒（教委）再編時期にあたる令和8年度の児童人数見込みとして、萩野地区は合計40名で、学年ごとでは、1年生8名、2年生2名、3年生6名、4年生8名、5年生8名、6年生7名となる。織田地区は合計122名で、学年ごとでは、1年生23名、2年生20名、3年生20名、4年生17名、5年生26名、6年生16名となる。両校再編により162名の人数を見込んでいる。

また、令和11年度の数まで見込んでおり、萩野地区は合計32名で、学年ごとでは、1年生4名、2年生6名、3年生5名、4年生8名、5年生3名、6年生6名となる。織田地区は合計118名で、1年生22名、2年生17名、3年生16名、4年生23名、5年生20名、6年生20名となる。両校合わせて、150名の人数を見込んでいる。

（参加者）再編後、萩野地区児童の通学方法として、現時点で話が出ているのであればお伺いしたい。

⇒（教委）現時点では、スクールバスによる通学を考えている。

（参加者）令和3年度、令和4年度に実施した織田地区への地区説明会、地区懇談会ではどのような意見が出たのかお伺いしたい。

⇒（教委）令和3年度の地区説明会は、各区長、保護者に分けて開催した。各区長からは、「地域の過疎化につながるのではない」「スクールバスの料金の対応についてはどうなるのか」「もっと大きい単位で再編した方がよいのではない」といった意見があった。保護者からは、「萩野小学校を残してほしい」「複式学級が発生するのであれば、時期を早めてほしい」「小さい学校が吸収されるような再編の仕方では無く、子どもたちへの配慮を考えながら進めてほしい」「不登校など、萩野小学校には無い問題があるのではない」といった意見があった。令和4年度の地区懇談会では、「跡地利用はどうなるのか」「児童クラブはどうなるのか」といった意見があった。

(参加者) 再編に向けて開催される学校再編準備部会ではどのようなことが検討されるのか。

⇒(教委) 総務部会では、閉校式や開校式といった式典関係、移転計画やスクールプランなど、学校全体の計画などについて協議する。PTA 部会では、会則や組織、予算、また、制服や体操服をどうしていくか、などといったことについて協議する。学校運営部会では、教育課程の編成や年間行事計画など、学校運営に関することについて協議する。通学安全部会では、通学の方法や安全確保といったことについて協議する。また、部会の構成としては、再編する両校の校長、教頭、教務が中心となり、教育政策推進室職員も入りながら協議を進める。PTA 部会のみ、両校の PTA 役員にも入ってもらうことになる。

⇒(参加者) お金がかかるなど、負担的な問題ができる限り少なくなるように検討してほしい。

(参加者) 再編の時期にあたる令和 8 年度以降、萩野地区の放課後児童クラブの在り方はどうなるのか。

⇒(子ども未来課) 児童クラブは残し、そのまま継続して運営することを考えている。また、利用料金の支払い方法について、納付書での対応が不便という意見もあるので、来年度中に口座振替に変更することを予定している。この再編を機に利用料金等の見直しを今後検討していく。

⇒(参加者) 児童にとっても、保護者にとっても負担が増えないようにしてもらいたい。

(参加者) 児童クラブについて、織田地区の児童は織田のクラブ、萩野地区の児童は萩野のクラブに通うことになるのか。それとも自由に選ぶことができるのか。どちらになるのかお伺いしたい。

⇒(子ども未来課) 織田地区と萩野地区の児童クラブ、どちらでも利用することはできるが、定員があるため、意向に沿えない場合も有り得る。その際は相談させてもらう。

⇒(参加者) 萩野地区の児童クラブに通うことになった場合、スクールバスに乗って児童クラブまで移動しても良いのか。

⇒(子ども未来課) その対応は可能であると教育委員会から伺っている。

⇒(参加者) 再編の時期が遅れないように、また、負担的な面もあまりかからないようにしてほしい。

(参加者) 再編後、萩野小学校児童が織田小学校に通うことになった際、制服や体操服はどうなるのか。

⇒(教委 1) 児童の学用品については、準備部会の PTA 部会で協議していくことになる。

(教委 2) 他地区の事例から言うと、在校生は買い替える必要は無く、今のものをそのまま使用してもらうことになると思う。新入生については、これを機に新しいものにするかどうかといった点を今後協議していくことになる。保護者の負担をなるべくかけないことを考えながら進めていく。

(参加者) 再編後の校名として、「織田萩野小学校」というのはどうか。校章、校歌は織田小学校のもので構わないが、「萩野」という名前を残したい思いも込めて提案させていただきたい。

（参加者）再編後、現在萩野小学校で勤務している先生数名を、織田小学校に異動させていただくと児童も安心して過ごせると思う。要望として取り入れてほしい。

⇒（教委）萩野小学校児童が安心して学校生活を送ることができることを優先して考える必要があるため、最大限考慮したい。教職員の人事については県も関係するため、必ずという形で約束することは難しいかもしれないが、しっかりと考えていきたい。

（参加者）現在の複式学級の状況についてお伺いしたい。

⇒（教委）現在、萩野小学校の2・3年生、4・5年生が複式学級になっており、今後もこのような状況が続くことが考えられる。

（参加者）スクールバスの乗降の際、児童の安全のため、慣れるまでで良いので、サポートをしてくれるような人員確保の配慮をしてもらえないか要望したい。

⇒（教委1）児童の安全を第一に考えて、通学安全部会で協議する。

（教委2）スクールバスについて、運行経路等もまだ決まっていないが、教委で考えたものを通学安全部会で協議し、保護者や地域の方にも意見をもらったうえで決定していく。前年度のうちに練習を兼ねた試行運転の実施も考えているので、児童の安全面も考慮したうえで丁寧に進めていきたい。

（参加者）再編後、萩野小学校はどうなるのか。

⇒（教委）跡地利用の検討委員会で協議していくことになるため、まだ決定していない。この委員会は、区長やPTA代表、各種団体の代表で構成することを考えている。

（参加者）通学路やスクールバスなどの事項について、いつ内容が確定し、いつ連絡がもらえるのか。

⇒（教委）準備部会の進捗によるため、断定した期日を言い切ることは難しい。随時、Home&SchoolやHPを通じて連絡する。保育園児保護者については、保育園を通じて連絡することになる。

⇒（参加者）必要物の購入や児童クラブへの入会など、入学に向けて準備することが多いので、なるべく早い決定と連絡をお願いしたい。

（参加者）再編される両小学校の児童同士の交流会は予定しているのか。

⇒（教委）現時点でも定期的に交流活動を行っています。再編時期までに、児童同士の交流が深まっているような状態を目指していく。

（参加者）萩野小学校に保管されている記録や写真といったものはどうなるのか。

⇒（教委）そういった歴史的資料については何等かの形で保存していきたいと思っている。保存の方法等については、今後協議しながら決定したい。

（参加者）再編により、スクールバスの時間帯や待合場所が中学校と小学校であまりにも違うようであれば困る。なるべく差が出ないように調整してほしい。

⇒（教委）再編によるルート変更等もあると思うが、試行運転なども参考にしながら、現在となるべく近いような形で調整していきたい。

以 上